

資料 3

鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計
 コンストラクション・マネジメント業務委託
 公募型プロポーザル 審査報告書

令和8年5月

鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計
 コンストラクション・マネジメント業務
 公募型プロポーザル審査会

1 選定結果

鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計コンストラクション・マネジメント業務委託公募型プロポーザル（以下、「CM業務プロポーザル」という。）について3者から提案があり、同センター設計コンストラクション・マネジメント業務公募型プロポーザル審査会（以下、「審査会」という。）において、それぞれの提案内容を審査し、次のとおり、最優秀提案者を選定した。

<最優秀提案者>

受付番号3 日建設計CM・下舞設計共同企業体

2 プロポーザルの経過

① 令和8年4月1日	審査会設置
② 令和8年4月3日	公募開始
③ 令和8年4月3日～10日	質問受付
④ 令和8年4月17日	質問回答
⑤ 令和8年4月21日	参加申込書提出期限
⑥ 令和8年4月27日	参加資格確認結果通知
⑦ 令和8年5月12日	企画提案書提出期限
⑧ 令和8年5月22日	審査会（プレゼンテーション・ヒアリング・審査）
⑨ 令和8年5月28日	審査結果通知、審査結果の公表

3 審査会の構成

	氏名	所属機関名
委員長	桑代 毅彦	鹿児島県観光・文化スポーツ部 部長
委員	東 俊浩	鹿児島県観光・文化スポーツ部 スポーツ・コンベンションセンター整備課 課長
委員	田尻 俊宏	鹿児島県土木部建築課営繕室 室長
委員	上四元 隆	鹿児島県土木部建築課営繕室 設備対策監
委員	古谷 誠章	公益社団法人 日本建築士会連合会 会長

4 審査結果の詳細

(1) 審査基準

企画提案書について、CM業務プロポーザル実施要領（以下、「実施要領」という。）の審査基準（以下、「審査基準」という。）に基づき評価を行った。

審査基準【抜粋】

(1) 企画提案書【90点】

審査項目の提案内容毎に、次のA～Eで評価する。

評価	内容	評価点
A	優れている	各項目の配点×1.00
B	やや優れている	各項目の配点×0.75
C	通常	各項目の配点×0.50
D	やや劣っている	各項目の配点×0.25
E	劣っている	各項目の配点×0.00

(2) 見積書【10点】

満点（10点）×提案価格のうち最低価格÷自社の提案価格

※小数点以下の端数が生じた場合は切り捨てとする。

(2) 審査結果

最優秀提案者を選定し、その結果を県に報告した。その後、県において最優秀提案者が決定された。

<最優秀提案者>

受付番号3 日建設計CM・下舞設計共同企業体

(3) 採点結果

審査項目	配点	受付番号							
		1		2		3			
1 発注者支援	10	5	8.50	4.75	7.50	3.50	8.25	4.25	
		5		3.75		4.00		4.00	
2 品質管理	30	25	27.75	23.75	22.00	18.75	26.50	22.50	
		5		4.00		3.25		4.00	
3 コストマネジメント	40	5	35.50	4.50	28.00	3.75	39.00	4.50	
		25		22.50		16.25		25.00	
		10		8.50		8.00		9.50	
4 業務実施体制	10	5	8.70	4.50	7.95	3.75	8.70	4.50	
		5		4.20		4.20		4.20	
5 価格点	10	10	9.00	9.00	9.00	9.00	10.00	10.00	
合計	100		89.45		74.45		92.45		
選定結果							最優秀提案者		

5 審査の講評

審査会において、3者から提出された提案について、5つの審査項目に沿って議論を行った。

その上で、採点の結果、評価点の最も高かった「日建設計CM・下舞設計共同企業体」を最優秀提案者に選定した。各案に対する講評は次のとおりである。

(1) 最優秀提案者

「受付番号3 日建設計CM・下舞設計共同企業体」

【提案の概要】

- これまで多くの公共施設・スポーツ施設整備に関するコンストラクション・マネジメント業務（以下、「CM業務」という。）を担当した経験から、建設資材価格の高騰など本プロジェクトのリスク・課題を整理した上で課題解決と設計品質の最適化を支援し、着実な事業進捗を図る。
- 施設に求められる機能・性能・品質を的確に捉え、発注者要望を反映した設計品質の管理を徹底する。
- コストの変動要因を継続して管理し、品質とコストの整合を図る。また、これまでのCM業務において効果を上げたコスト縮減提案の知見を活かし、設計者からのコスト縮減提案の審査・検証とあわせて、提案者独自のバリューエンジニアリング（以下「VE」という。）、コストダウン（以下「CD」という。）の提案によりコスト縮減を実現する。
- 本プロジェクトに関するCM業務を円滑に遂行するため、管理技術者及び主任技術者（建築（総合））からなる「統括チーム」とその他主任技術者と本県の地域特性に精通した県内設計事務所からなる「専門チーム」の2チームで体制を構築し、両チームが連携して、適切な進捗管理のもと、効果的かつ効率的な業務体制を構築する。

【講評】

最優秀提案者の提案については、次の点が評価され、評価点が最も高かった。

「発注者支援」については、設計中に想定されるリスクと対応方針などについて、具体的な提案がなされ、また、プロジェクトの成功に向けて考え得る課題を適切に見積もった上で可能な限りリスク低減を図っていくという姿勢などが評価された。

「品質管理」については、設計者の提案を細かく検証した上で、チェックすべきポイントを挙げ、その理由及びチェック方法について、具体的な提案が複数あったことなど

が評価された。

「コストマネジメント」については、提案者の経験豊富な実績を基に、設計者の提案内容に対して、建設から管理・運営における具体的なVE、CDの提案が複数あったことなどが評価された。

「業務実施体制」については、多くのスポーツ施設等に関するCM業務の実績があることや、県内の設計事務所と共同企業体を構成し本県の地域特性を踏まえた品質管理に期待ができることなどが評価された。

今後は発注者・設計者と十分に協議の上、設計者の提案を踏まえた効果的な提案がなされることを期待する。

(2) その他の提案

受付番号1は、共同企業体の構成員として大手プロモーターを参画させ、興行等の運営の目線を取り入れながらCM業務を実施できる点や、基本設計・実施設計の各段階におけるコスト管理の手法やライフサイクルコストへの配慮などについて評価する意見があった。

一方で、VE/CDについて、もう少し具体的な説明が欲しかったなどの意見があった。

受付番号2は、設計者の提案内容に関する興行面での課題を指摘し、CM事業者として目指す方向性が明確であることを評価する声があった。

一方で、VE/CDについての掘り下げが不足しているなどの意見があった。

令和8年5月
鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計
コンストラクション・マネジメント業務
公募型プロポーザル審査会

【参考】 審査項目及び提案内容 ※実施要領から抜粋

審査項目	提案内容	配点		審査の視点
①発注者支援	ア 設計中に想定される県のリスクを挙げ、その対応方針を示すとともに、県が迅速な意思決定を行うための支援の方法（資料作成、情報の収集提供等）を具体的に提案すること。	5点	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容は具体的か。 ・支援する姿勢は積極的か。 ・行政業務を理解しているか。
	イ 県の業務負担軽減及び業務効率化を支援するための方法（対外的な説明資料の作成支援等）を具体的に提案すること。	5点		
②品質管理	ア 設計図書のチェックすべきポイントを挙げ、その理由及びチェック方法（第三者の視点の確保等）を具体的に提案すること。	25点	30点	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容は具体的か。 ・効果が見込めるか。
	イ 鹿児島県スポーツ・コンベンションセンター設計業務仕様書と設計内容の整合を確認するための方法を具体的に提案すること。	5点		
③コストマネジメント	ア 基本設計・実施設計の各段階におけるコスト管理の方法を具体的に提案すること。	5点	40点	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容は具体的で実現可能か。 ・独自性や優位性が示されているか。 ・積極的なVE・CD提案が見込めるか。
	イ VE・CDを行う際に必要な視点及び実施方法を具体的に提案すること。	25点		
	ウ 建設市況（実勢価格）の把握方法及び把握の精度を向上させる方法を具体的に提案すること。	10点		
④業務実施体制	ア 業務実施方針、業務体制図を提案すること。	5点	10点	<ul style="list-style-type: none"> ・提案内容を実現できる実施体制か。 ・技術者の実績は十分か。
	イ 配置予定技術者の経歴及び実績を示すこと。	5点		
⑤価格点	ア 見積書	10点	10点	
合計		100点		